

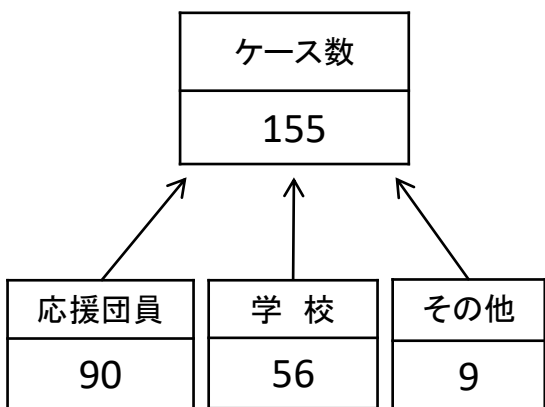


門真市子どもの未来応援ネットワーク事業 情報誌 vol.7

令和2年1月発行

応援団員の活動が子どもの未来を開きます！

【事例件数】



【校区别応援団登録者数】(令和元年12月16日現在)

中学校区	登録者数
第二中	147
第三中	218
第四中	198
第五中	196
第七中	139
はずはな中	167
企業等	156
その他・市職員	100
合計	1,321

応援団員数が
門真市の人口
(12万人)の1%
を超えました。
いつも子どもたち
を温かく見守っ
ていただきまして
ありがとうございます。

平成29年10月の事業開始以降、多くの市民及び企業の従業員の皆様に「子どもの未来応援団」として、地域の見守り活動をしていただいています。早期に発見し対応することで、その子どもや保護者の課題が、少しでも早く改善できるようになります。

子どもの未来、門真の未来のためにも、ぜひ皆様のお力をお貸しください。情報提供は、「子どもの未来応援チーム」までお願いします。

☎ 06-6902-6098



「こども未来カフェ」が開催されました！

令和元年11月15日(金)から27日(水)にかけて、各中学校区で「こども未来カフェ」を開催しました。会場では、「ダイドードリンコ株式会社」から提供された飲料を飲みながら、応援団員同士の交流や推進員との懇親を深め、今後の地域での見守り活動から「子どもの未来応援チーム」への情報提供を行いやすい関係を築くことができます。

「参加者の声」

- 犬の散歩をしながら見守りをするを日課としている。
- バッジをつけていると子どもが声をかけてくれることがあるようになった。
- 登校時より下校時の方が話をしてくれることが多い。
- 学校以外の子どもたちの居場所が必要だ。

など、さまざまな意見が出されました。

昨年は、「こども未来カフェ」の開催後に「子どもの未来応援団員」からの情報提供数が増加しており、そのことについて、地域で応援団員の方々にお聞きすると「担当の推進員と話しやすくなったから」とのお答えが返ってきました。

何か気になることは、担当の推進員にお気軽にご相談ください。



自治会館が「宿題カフェ」に

NPO法人トイボックスが主催する「宿題カフェ」が、市内11か所となり、そこに参加して見守りを行っていただいている「応援団員」からの情報提供数も増え、早期に子どもへの支援等につながっています。

今回は、応援団員が地域での子どもの居場所が必要との思いから、自治会館を利用し「宿題カフェ」を運営している「四宮住宅自治会館宿題カフェ」についてお伝えします。



☞ 宿題カフェが開催されている時は、このノボリが立っています。



☞ 自治会館の入口。子ども達が靴を揃えています。



☞ 多くの子どもが宿題をしていました。宿題の後には応援団員の方と会話し楽しい雰囲気です。この日は、応援団でもある「日本フローサーブ株式会社」の外国人の社員の方も参加いただき、子どもと触れ合っていました。



☞ 宿題カフェを運営する応援団員 左から日本フローサーブ(株) 小立さん、板倉さん、中島さん、上村さん

☞ 「宿題カフェ」を運営している「子どもの未来応援団員」の皆さんの中から、中島さんにお話をお聞きしました。

「子どもたちの居場所としての第一歩。今は、宿題のあとのジュースを目当てに来る子どもも少なくないですが、毎回20名以上の子どもが集まり、楽しく宿題をしています。子どもたちが何か困った時に相談できるような居場所、大人になった時にあの居場所があつてよかったと思ってもらえるような居場所を目指して、ただ今、模索中です。」

【問い合わせ先（主催者）】

NPO法人 トイボックス

「ルミエールホール・中塚荘 指定管理者」 担当：別府

電話：06-6907-8101

メールアドレス：mailbeppu@nptoybox.jp

興味のある方、お手伝いしたい方を提供してくださる方はお気軽にご連絡ください。



子どもを真ん中においたネットワークフォーラムを開催しました。

11月22日(金)に門真市新橋町にある東和薬品(株)本社で「子どもを真ん中においたネットワークフォーラム」を開催しました。

当日は定員の80人を超える参加があり、大阪府立大学 山野則子教授の基調講演にはじまり、それぞれの立場で活動されている方々の発表を経て、参加者交流会を実施しました。

参加者交流会では、応援団員・子どもの居場所関係者・企業関係者が交流を行い、それぞれの立場でできることを出し合い今後の活動へとつながる交流が行われていました。

企業関係者からは、「子どもの居場所として会場を提供したい。」「子どもの貧困対策のために寄附をしたい。」などの声があがっており、更なる子どものための公民連携が進むことが期待されます。



基調講演「子どもの貧困問題の現状と今後」
門真市子どもの未来応援ネットワーク事業アドバイザー
大阪府立大学 山野 則子 教授



地域活動発表「子どもの未来応援団員の活動について」
門真第四中学校区子どもの未来応援団連絡会
岡本 恒男 副会長



地域活動発表「門真で広がる第3の居場所 宿題カフェ」
NPO法人トイボックス
栗田 拓 代表理事



行政発表「大阪府の公民連携について」
大阪府公民戦略連携デスク
山縣 敦子 プロデューサー



企業連携発表「情報発信ベンダーについて」
ダイドードリンコ株式会社
越塚 智明 マネージャー



企業連携発表「FC大阪の取り組みについて」
OSAKA愛鑑実行委員会、FC大阪スポーツクラブ
吉澤 正登 会長



門真市はSDGsを推進する中で、1番目の目標である「貧困をなくそう」の達成のため、あらゆる種類の貧困をなくす施策を進めてまいります。しかし、子どもの貧困問題は様々な要因が複雑に関係する問題であり、行政のみならず様々な主体の力を結集して取り組む必要があります。

子どもの貧困問題に対して連携いただける企業・団体様は門真市こども政策課へお問い合わせください。

問合せ先 : 門真市こども政策課 ☎06-6902-6095



早期発見・早期対応が、子どもたちに明るい未来につながります

「門真市子どもの未来応援ネットワーク事業」は、下記の資本が欠如しているであろう状態にある子ども及びその家庭を支援し、子どもが明るい未来を手に入れるために多くの選択肢を選べることを目指しています。

「保護者が余裕を持たなく苦しんでいる」または「近隣との付き合いがなく相談相手がないようだ」など経済的なこと以外でも、保護者の状態が子どもの未来に影響を与えることがあることから、「子どもの未来応援チーム」は必要な支援を検討し対応いたしますので、皆様からの情報をお待ちしています。

経済的資本の欠如

世帯収入が低く、子どもへの投資(学業・体験)ができないために、子どもの成長や将来選択に影響を与える。

人的資本の欠如

生活環境が不安定、健康的な生活ができていないことから、学習習慣が定着しにくく、子どもの将来の選択に影響を与える。

社会的資本の欠如

地域からの孤立により、人と関わる機会が少なく、困りごとを相談することができない。また、様々な価値観に触れ合う機会が乏しく、子どもの将来の選択に影響を与える。

子どもの未来応援ネットワーク事業が注目されています

「門真市子どもの未来応援ネットワーク事業」は、子どもの貧困対策事業の先進事例として全国的に注目されており、事業開始当初からテレビや新聞による報道をはじめ、多数の視察や講演依頼等を受けています。

日付	視察受入先	日付	事業紹介(講演等)
2018年 2月22日	大阪府議会議員	2018年 1月19日	子どもの未来を応援する首長連合「地域ワークショップ」講演(八尾市)
6月27日	福岡県筑前町議会議員	3月17日	地方創生エクストリームアイデアソン講演(東京都中央区)
7月10日	社団法人大阪府自治体問題研究所	7月17日	河北主任児童委員研修会講演(門真市)
11月1日	埼玉県川口市議会議員	8月2日	大阪府チャンネル出演(大阪市中央区)
11月20日	和泉市教育委員会	11月2日	大阪国際大学経済学科サブセミナー「行政系地方公務員の仕事を知る」講演(守口市)
2019年 2月8日	愛媛県新居浜市泉川中学校教頭	12月13日	四條畷市インターネットテレビ「なわちゃん」出演(四條畷市)
4月18日	大阪大学教授(大阪府教育委員)	2019年 1月29日	大阪府主催「公民連携フォーラム」講演(大阪市中央区)
6月28日	沖縄弁護士会		
7月4日	愛知県幸田町		
9月19日	寝屋川市地域福祉計画推進委員会		
10月30日	愛知県幸田町(2回目)		
11月8日	栃木県那須塩原市議会議員		
12月2日	滋賀県守山市		
2020年 1月7日	株式会社サイボウズ		
2月13日	関西学院大学教授(予定)		
2月14日	財務省近畿財務局(予定)		